

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
23404	保育の基礎講座 Introduction to Nursing	小田 良枝	✓	専門	2	必修	1年後期
科目の概要							
乳幼児の栄養を考える時、保育の現場について理解することは、重要なことであると考えます。「保育」の意味を理解すると共に乳幼児期の実際の生活を見ること、特徴を知ることにより、「保育」の中の食育の重要性を広く理解する。保育所で働く専門職の栄養士として、保育施設や保育者の役割、援助の方法などを学修する。							
学修内容				到達目標			
乳幼児の生活文化、食文化を理解する。 乳幼児の特徴、「保育」の意味を考える。 保育関連の施設を知る。 保育者の役割、援助の方法を学ぶ。 食育の意味、重要性を考える。				① 乳幼児の生活文化、食文化を具体的に説明できる。 ② 心身の発達の特徴をふまえ、「養護と教育」を説明できる。 ③ 保育関連の施設の実態を説明できる。 ④ 「かかわる、うけとめる」など保育用語を説明できる。 ⑤ 食育の意味、重要性を知ることが出来たか説明できる。			
学生に発揮させる社会人基 礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏 み出す 力	主体性	課題や次回の授業内容の提示に対し、主旨を受け止め、進んで取り組み、さらに課題を分析するのに必要な知識についてテキストや文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	一度決めたことは最後までやりきることができる。					
考え抜 く力	課題発見力	現代の子育て状況を理解し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。					
チーム で働く 力	発信力	グループ発表の際聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）話すポイント が整理され発表できる。					
	傾聴力	グループワークで人の意見を受容し、さらに自分の意見を述べる事ができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る事ができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
参考文献：厚生労働省、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン（2019年改訂版）」「保育所における食事の提供ガイドライン（平成24年3月）」「授乳・離乳の支援ガイド（2019年3月）」「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）」							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：栄養教育実習、栄養士学外教育実習指導、食物アレルギーの医学・基礎と対応 資格との関連：栄養士							
学修上の助言				受講生とのルール			
・講義ノートは細目にとり、配布プリントと共に整理し、まとめておくこと ・講義中に小テストをするので、欠席の場合、減点対象となる				・乳幼児の成長に関わる大人(人的環境)としての自覚を持ち 授業に臨むこと。 ・授業中の私語は周囲の迷惑となるので慎むこと。携帯電話は電源を切りカバンの中に入れておくこと。 ・各週授業終了後シラバスに記載されている予習・復習内容を指示されなくても各自ノートに記述しておくこと。（記述していない場合は減点対象）			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・ 実技・口述 試験		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	平常評価	小テスト	20	①	✓	・授業内容を理解できているか確認する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学修した内容とする。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		レポート	40	①	✓	・「保育」に関する課題。 広く調べて自分なりの言葉でまとめる能力を評価する。 ・小課題を複数回、出題する。 実施時期、テーマは授業中に指示をする。 ・まとめレポートについて タイトル 後日連絡 提出日 最終講義
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	30	①	✓	・各回の内容について、理解度を確認するために成果発表を行う。 グループ討議のメモ用紙(3点)、プレゼンテーションの成果(7点) ・1分間の発表。 ・表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 課題等の主旨を捉え、進んで取組み自己学修ができたか評価する (実行力) 決めたことは最後までやりきることができたか評価する (課題発見力) 現代の子育て状況の理解から課題を見極められたか評価する (創造力) 他者と活動する中で多角的に物事を考えることができたか評価する (発信力) 相手に分かりやすい、話しのポイント、方法ができているか評価する (傾聴力) グループ活動の際意見を述べる事ができるか評価する (規律性) 授業が円滑に進行するようルールを守る事ができたか評価する	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価 割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
到達レベルに加え、S：社会人基礎力のうち7修得できている。A：社会人基礎力が6修得できている。 「保育」の意味をよく理解し、説明ができる。 乳幼児の心身の発達および保育方法が説明できる。 食育で育てたい力(幼児期の食育の目標)が理解し、説明ができる。 食育は、知育・徳育・体育の基礎であるという意味を理解し、説明ができる。	到達レベルに加え、B：社会人基礎力のうち4修得できている。C：社会人基礎力のうち2修得できている。 「保育」の意味が理解できている。 乳幼児の心身の発達および保育方法を、理解しようと努力する態度がある。 幼児期の食育の目標が理解できている。 食育は栄養教育ではないという意味を理解できている

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 授業の目的、進め方などの説明 ・食育と保育について学修する。	講義 ・オリエンテーション	食育と保育の意味、繋がりが記述できる。	(復習) プリント「保育所・幼稚園の歴史」を学ぶ。 ・求められる専門性について、自分の考えを記述する。	180	主体性 傾聴力 規律性
2週 /	保育所・幼稚園の歴史を学ぶ 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領について学修する。	講義 ・グループ活動(グループ活動のメモ書きを提出) ・前週の講義内容をフィードバックする。	保育所・幼稚園の歴史を学び、違いについて記述できる。	(予習) 授業で渡したプリントを読む。 (保育所保育指針・幼稚園教育要領の目的を調べる) (復習) 保育所と幼稚園の違いを調べる。	180	主体性 実行力 規律性
3週 /	保育の意義と社会的責任について学修する。	講義 ・グループ活動 ・前週の講義内容をフィードバックする。	養護と教育の一体性、乳幼児の発達過程に応じた保育について記述できる。 保育園見学の視点が記述できる。	プリント 「養護と教育の一体性」 (予習)「養護と教育の一体性」養護と教育について自己の表現でまとめる。 (復習) 保育の意義・社会的責任について考えをまとめる。	180	課題発見力 実行力 規律性
4週 /	子ども理解 保育の現場を見学し、保育について学修する。献立表をみて保育園の食事について学修する。	演習 ・保育園見学	保育園見学を通して日常生活、遊び、食事などの保育内容が理解できる。	プリント ・「献立表」 (予習) 献立表を見て気づいた事を5点まとめる。(復習) 保育園見学観記録を記述する。	180	課題発見力 規律性
5週 /	子ども理解 子どもの遊びと文化を知る。	講義 ・グループ討議 結果提出・前々週の講義内容をフィードバックする。	前週で学んだ内容を念頭に伝承遊び・児童文化が子どもにとってどのような良い影響があるのか自己の考えをまとめることができる。	プリント ・育てたい「食べる力」について (予習) 配布プリントを読み、子どもが食べたいと思える環境を3つ考える (復習) 翌週小テストを行う。今まで学んだことを振り返る。	180	傾聴力 発信力 規律性
6週 /	園生活の1日の流れと保育者の役割を考える。	講義 ・グループ活動 ・小テスト ・前週の講義内容をフィードバックする。	「保育は過程である」この言葉の意味を自分の言葉で記述できる。	プリント ・「園の日課表」 (予習) 日課表を見て気づいたことを5点まとめる。 (復習) まとめのレポートのサブタイトルを考える。	180	主体性 規律性
7週 /	保育の方法・環境 自然環境 野菜づくりの意味、大切さを考える。	講義 ・グループ活動 (グループ討議のメモ書きを提出) ・前週の講義内容をフィードバックする。	子どもの心身の発達と自然環境の関係述べることができる。	(予習) 10月中旬頃の田畑で栽培されている野菜を5つ調べる。 (復習) まとめのレポートの構成を考える。	180	傾聴力 発信力 規律性
8週 /	保育の方法・環境 人的環境・物的環境とは何か、意味を理解する。	講義 ・グループ活動 (グループ討議のメモ書きを提出) ・前週の講義内容をフィードバックする。	乳幼児にとっての人的(大人)環境の根拠が分かり記述できる。	(予習) 保育所保育指針の「環境」の項目を事前に配布するので読み参加すること。 (復習) まとめのレポートの内容を考える。	180	主体性 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	保育所職員の専門性 栄養士も保育者の一人であることを学修する。	講義 ・前週の講義内容をフィードバックする。	保育所職員の専門性と倫理観、乳幼児のかかわりが分かり、記述することができる。	(予習)プリント「幼児期に育つもの」を読んでおく。保育所保育指針の職員の専門性についての資料を配布するので読んでおく。 (復習)DVD視聴でメモをとり、保育者の一人として関わり方を記述し提出する。	180	課題 発見力 規律性
10週 /	保育所職員の専門性 衛生面について確認する。	講義 ・グループ活動 ・前週の講義内容をフィードバックする。	感染症や食中毒など子どもへのわかり易い伝え方を工夫することができる。	(予習)感染症もしくは食中毒の種類を調べ、子どもへ語りかける際の手帳を作る。(復習)小テストをするので覚えてくる。	180	傾聴力 発信力 規律性
11週 /	保育所職員の専門性 食育、献立について意見交換する。	講義 小テスト ・グループ活動 ・前週の講義内容をフィードバックする。	「楽しい食事とは」について意見交換、家庭での食事をイメージして参加することができる。2歳児のDVD視聴をし、メモを取る。	(予習)「楽しい食事」について考えをまとめ記述してくる。 (復習)2歳児DVD視聴のメモをとり、保育者の一人として関わり方をノートに記述する。	180	傾聴力 発信力 規律性
12週 /	保護者に対する支援 施設見学をする。	演習 ・グループ活動 観察記録提出。	「楽しい食事とは」を視点として給食を観察し考察できる。	プリント・「施設の概要」を配布する。 (予習)保育所における食事の提供の意義を調べる。 (復習)保育園見学で理解したことをまとめて記録する。	180	主体性 実行力 規律性
13週 /	保護者に対する支援 父親・母親の保育責任を考える。	講義 グループ活動 報告文提出 ・前週の講義内容をフィードバックする。	子ども・子育て支援新制度について述べるができる。お弁当とコショク、家庭での食事について述べることができる。	プリント・「子どもの発達課題と家庭教育のテーマ」(予習)プリントを読んでくる・保護者の保育責任についての記事・話題を探す。 (復習)保護者支援の必要性をノートに記述する。	180	発信力 傾聴力 規律性
14週 /	「弁当の日」の実践記録から、命を育む食について学ぶ。	講義 グループ活動 報告文提出 ・前週の講義内容をフィードバックする。	「保育」の場での食事の意味を述べることができる。お弁当とコショク、家庭での食事の繋がりについて述べることができる。	(予習)お弁当について調べてくる。自分の思い出のお弁当を振り返る。 (復習)学んだ事をふまえ提出レポートの作成に取り組む。	180	課題 発見力 規律性
15週 /	まとめ「乳幼児の食生活」についてレポートの仕上げをする。	講義 ・レポート作成 レポート提出 ・14週間の講義内容をフィードバックする。	授業で学習したこと、考えたことなどを記述する。	(予習)レポートの構成を考えておく。	180	主体性 課題 発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力